

近代日本のダークサイドから考える

「共に生きる」 「隣人」

意味 とは？

2018 10月6日 土

13:30~15:00

愛知大学豊橋校舎 3号館 320

受講無料・当日先着順(定員 300名)

講師

姜尚中氏

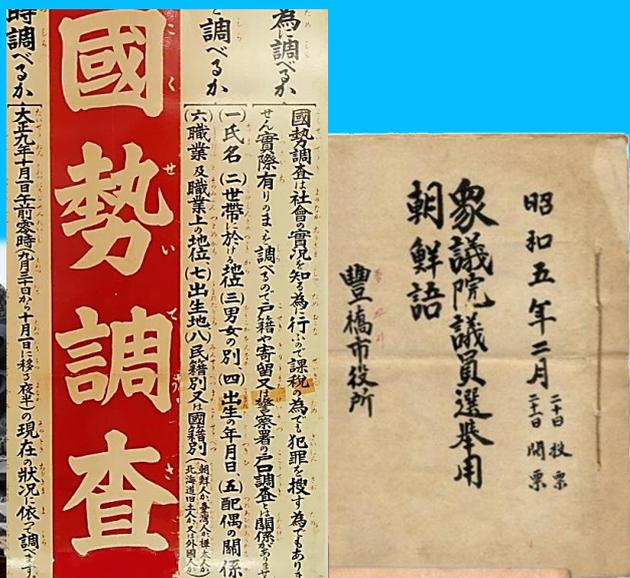
Kang Sang-jung



©今村拓馬

明治維新から150年の近代日本の歩みを背景に、そのダークサイドに目を凝らしつつ、誰が排除、隠蔽、差別されてきたのか、その点を日本列島の地域の現場とその歴史から浮き彫りにし、いま、私たちが「共に生きる」ために何が必要とされているのかを共に考えてみたいと思います。具体的には共同通信に掲載され、その後、一冊の本にまとめられた『維新の影』をベースに、ビジュアルな素材を使いながら話を進めていく予定です。

講師からのメッセージ



交通アクセス

豊橋鉄道渥美線

「愛知大学前」下車すぐ

※ご来場の方は公共交通機関をご利用ください。



連絡先 愛知大学人文社会学研究所

〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1

T E L : 0532-47-4167

E-Mail : irhsa@ml.aichi-u.ac.jp

U R L : http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/



講師 姜 尚中 (カン・サンジュン) 氏

Kang Sang-jung

■ プロフィール

1950年熊本県熊本市に生まれる。国際基督教大学準教授，東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授，聖学院大学学長などを経て，現在東京大学名誉教授。熊本県立劇場館長兼理事長。2018年4月より鎮西学院学院長に就任。テレビ・新聞・雑誌などで幅広く活躍。

■ 専門分野

専攻は政治学，政治思想史。

■ 主な著書

『東北アジア共同の家をめざして』(平凡社, 2001), 『ナショナリズム』(岩波書店, 2001), 『マックス・ウェーバーと近代』(岩波現代文庫, 2003), 『オリエンタリズムの彼方へ』(岩波現代文庫, 2004), 『在日』(講談社, 2004), 『姜尚中の政治学入門』(集英社新書, 2006), 『愛国の作法』(朝日新書, 2006), 『増補版日朝関係の克服』(集英社新書, 2007), 『ニッポン・サバイバル』(集英社新書, 2007), 『悩む力』(集英社新書, 2008), 『リーガーは半歩前を歩け』(集英社新書, 2009), 『あなたは誰？私はここにいる』(集英社新書, 2011), 『心の力』(集英社新書, 2014), 『悪の力』(集英社新書, 2015), 『君に伝えたいこと』(自由国民社, 2015), 『漱石のことば』(集英社新書, 2016), 『逆境からの仕事学』(NHK出版新書, 2016), 『見抜く力』(毎日新聞出版, 2017)など。共著に『グローバル化の遠近法』(岩波書店, 2001), 『ナショナリズムの克服』(集英社新書, 2002), 『デモクラシーの冒険』(集英社新書, 2004), 『戦争の世紀を超えて』(講談社, 2004), 『大日本・満州帝国の遺産』(講談社学術文庫, 2016)など。編著に『在日一世の記憶』(集英社新書, 2008)など。小説『母—オモニ—』(集英社, 2010), 『心』(集英社, 2013)を刊行。最新刊は『維新の影 — 近代日本一五〇年, 思索の旅』(集英社, 2018)